



すみれぐみだより

2017年 11月 第3号

吹く風が少しずつ冷たくなり、秋から冬へバトンタッチする季節になりました。肌寒さを感じる日でも、園庭を走り回る子どもたちは元気一杯です。これから来る本格的な寒さに負けないように、体を動かして沢山遊び、丈夫な体作りをしていきたいと思ひます。

また、感染症が流行しやすい時期なので、健康管理に十分注意し、手洗いうがいをしっかり行っていきたくひです。



みんなどうする？何する？



ある日のこと・・・「おもちゃで遊びたい」「ぬりえやりたい」「粘土やりたい」「フルーツバスケットしたい」という子ども達。そこで「みんなで何して遊びたいか決めていいよ」と声を掛けてみました。すると、「おもちゃがいい」「えー粘土がいい」など自己主張が多い中、一人の男の子が「自分だけじゃなくて、みんなで決めるんだよ！何して遊びたい？」とリーダーになってみんなをまとめてくれました。それでもなかなか決まらずにどうなるのかと見守っていましたが、いつしかリーダーになってまとめる子も増えて「おもちゃがいい人～？」「フルーツバスケットがいい人～？」と、多数決を取って決めていました。無事におもちゃで遊ぶことに決定し、何のおもちゃで遊ぶかまで子ども達で決めて遊ぶことが出来ました。

日々成長が目に見えるので、とても嬉しく感じています。これからも園での子ども達の成長を、保護者の方と一緒に喜んでいきたいと思ひます。

ふうせんかずらの成長



ゆりぐみが昨年育てたふうせんかずらの種を引き継ぎ、6月に種をまきました。初めはふうせんかずらという名前を覚えるのが難しく「ふうせん・・・なんだっけ？」「ふうせんバナ」など言っていました。が、数日経つと完璧に覚ええました。

毎日の水あげが子ども達の日課で、雨が降っている日まで「お水あげたい」と言うほどでした。芽が出た時には保育士よりも先に気付き「芽が出たよ！来て来て」と嬉しそうに手を引いて、ふうせんかずらの観察を一緒にしました。花が咲いた時、ふうせんが出来た時、様々な成長に目を輝かせて喜ぶ子ども達の姿に嬉しく思ひました。

そして10月になってからふうせんかずらの種の収穫をしました。「ふうせんが茶色になったら種が出来るんだよね」とずっと楽しみにしていたので「きゃー！いっぱい出来てる」「ハートの種いっぱい」と大喜びでした。「おうち持って帰ってもいい？」と言う子が沢山いたので、みんなで分け合って持ち帰ることにしました。「ゆりさんになったらおうちで育てよう」と今から楽しみにしていて、保護者の方からも「来年、種をまくまで大切にしようね」との声があったので、来年になってお話が聞けるのを楽しみにしています。

★やればできる、やふー・・・★

最近、ひらがなワークに取り組む前に、言葉遊びをするのがお決まりになっています。先日“や”から始まる言葉遊びをした時のエピソードを紹介したいと思います。

「やる」という言葉が出ると「やりたい」「やった」「やりたくない」など次々に出てきたり、「やふー」「やれば出来る子」「やむ」など様々な言葉が出てきたので笑ってしまいました。ひらがなワークが終わってからも“や”から始まる言葉を考へていた子ども達でした。

これからも楽しみながら、ひらがなに触れて沢山覚えていきたいと思ひます。